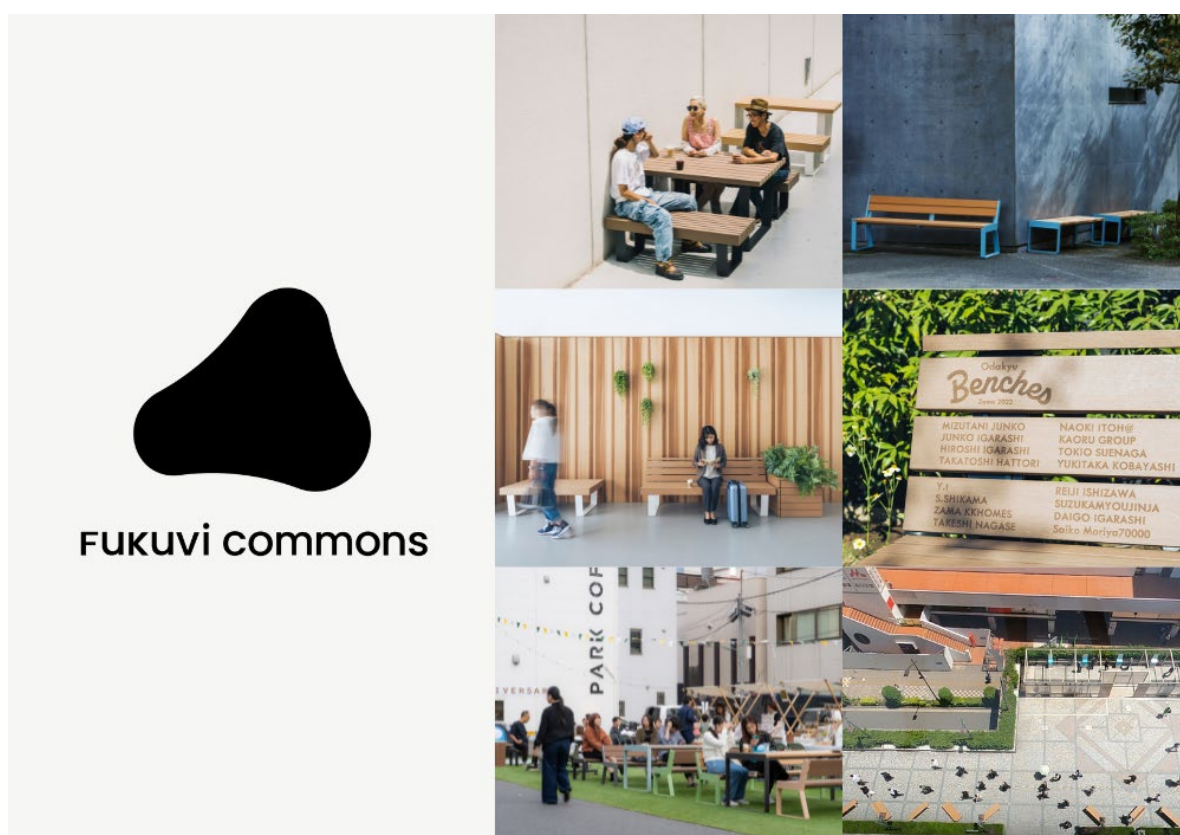


まちと人の関係を育てるプラットフォーム型事業ブランド 「Fukuvi commons（フクビコモンズ）」始動

フクビ化学工業株式会社（以下、フクビ化学工業）は、このたび、まちと人をつなぐ事業ブランド「Fukuvi commons（フクビコモンズ）」の立ち上げを行いました。

Fukuvi commonsは、これまで培ってきたパブリック空間向けプロダクトの開発や空間づくりを起点に、多様な人やアイデアが交わり、まちを育てていくためのメディア・プラットフォームです。



■立ち上げの背景

私たちは、日常のまちに人々の休息の場を生み出し、持続可能なまちづくりに貢献する屋外家具ブランド『Fandeline（ファンダライン）』を2021年10月に発売し、これをきっかけにフクビ化学工業にまちづくり事業推進室というパブリック製品を取り扱う部門が組成されました。

その後、他企業とのまちづくり製品におけるブランドコラボレーションや、ソーラーパネル付き屋外照明灯シリーズ『ソーラーLED』の発売など、製品づくりを主体に、さまざまなかたちでまちづくりに関わってきました。

その中で改めて実感したのは、空間やモノそのものの以上に、そこから生まれる関係性や継続的なつながりの大切さです。

一過性の整備や導入で終わるのではなく、その場所が人々に使われ、語られ、関わる人が増えていくことで、まちは少しずつ変化していきます。このプロセスを、もっと開かれた形で共有し、育てていくために立ち上げたのが「Fukuvi commons（フクビコモンズ）」です。

また、これまで各製品や取り組みが点在していたことで私たちの共通の想いや軸を伝える場所が不足していたこともあり、フクビまちづくり事業推進室が手掛けるプロダクトや共創プロジェクトを一元化して伝えるプラットフォームとしての意味合いも持たせています。

■Fukuvi commonsとは

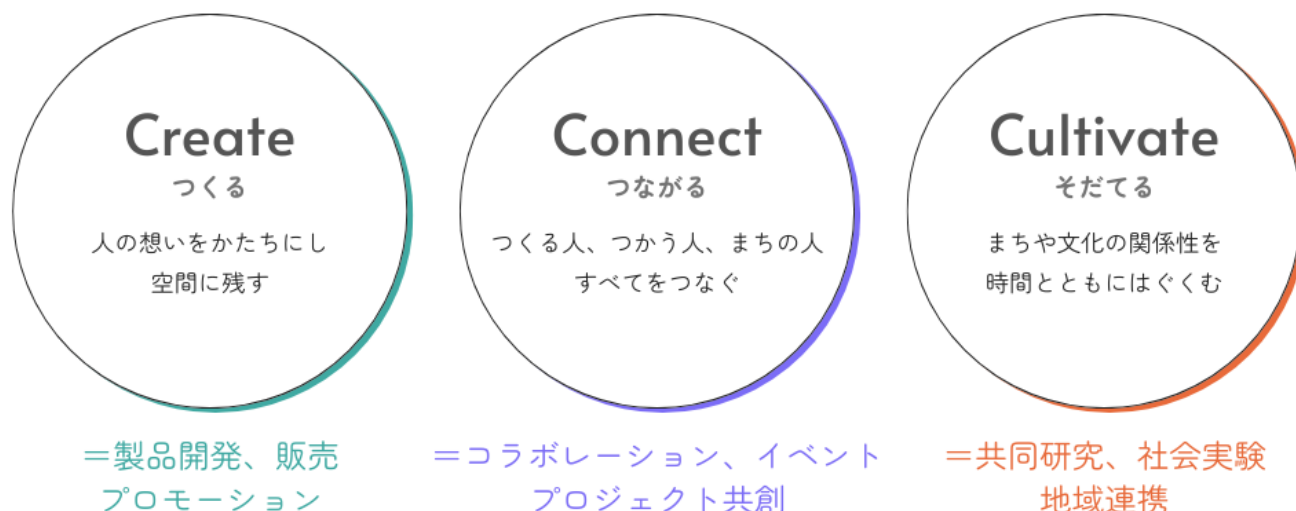
Fukuvi commonsは、「Create（つくる）」「Connect（つなげる）」「Cultivate（そだてる）」という3つのCを軸に、プロジェクト単位で取り組みを展開する事業ブランドです。

名前の「Commons」には、「誰か一人のものではなく、みんなで使い、関わり、育てていく共有地」という意味があります。

プロダクト、空間、活動を通して生まれた価値を、企業や地域、個人などさまざまな人と共有しながら、次のアクションへとつなげていきたいという願いを込めました。

■主な取り組み

以下の3つの領域でプロジェクトを展開し、共有していきます。



Create：つくる

パブリック製品を通じて、過ごしやすい場所をつくることでまちの中に人が集うきっかけを生み出します。

Connect：つなげる

共創プロジェクトを起点に、外部機関やデザイナーなど多様な主体が関わるまちづくりネットワークを構築します。

Cultivate：そだてる

教育機関や自治体等と協力しながら研究・実践や地域活性化に取り組み、時間をかけてまちを育てていきます。

■今後の展望

今後は、Fukuvi commonsの考え方に共感していただけるパートナーとともに、プロジェクトの拡張や情報発信を行っていく予定です。また、情報発信プラットフォーム『note』を用いてパブリック製品の開発に関する背景や想い、ノウハウの共有や活動に関することなどの発信も行い、まちづくりに関する情報密度を高めていこうと考えております。

まちづくりを一部の人だけが関わるような特別なものにせず、だれもが日常の延長線上で関われる「共通の場＝commons」となるように、活動を広げてまいります。

■Fukuvi commons Webサイト：<https://fukuvicommons.jp>

【このリリースに関するお問い合わせ先】

フクビ化学工業株式会社 事業開発本部 まちづくり事業推進室 TEL：03-5742-6321 MAIL：gksgrs@fukuvi.co.jp